

メキシコ合衆国

メキシコ州との 交流の概要

<昭和54年（1979年）10月2日姉妹提携>



埼玉県マスコット「コバトン」
(姉妹友好州省・メキシコ州バージョン)

彩の国  埼玉県

目 次

1	メキシコ州の概要	1
2	メキシコ合衆国の地図	4
3	メキシコ州との交流のあゆみ	5
4	メキシコ州とのこれまでの主な交流事業	12
5	メキシコ州との近年の交流事業実施状況	14
6	関係機関一覧	15

メキシコ州の概要

1 位置

メキシコ合衆国の中央部、北緯18度20分と20度17分の間であり、メキシコ中央高原に位置します。メキシコ合衆国の首都メキシコシティを三方から取り囲んでいます。

2 面積

22,351 km² (埼玉県 3797.75 km²の約 5.8 倍)

3 人口

16,992,418 人 (2021年現在)
(埼玉県人口 [7,327,470人・2023年2月] の約 2.3 倍)

4 州都

トルーカ市
人口 910,608 人 (2021年現在)

5 地勢

海拔2,000mを超える高地がほとんどで、トルーカ市は海拔2,680mに位置します。ポポカテペトゥル山 (5,428m)、イスタクシワトル山 (5,280m)、ネバード・デ・トルーカ火山 (4,578m) などの山々や、盆地、滝、湖、ダム建設による人造湖も多く、国立公園が11か所あります。

6 気候

高度の影響で全体的に気温も湿度も比較的低めです。ただし、地域によっても異なり、北西部は乾燥しており、南部と西部は涼しく、湿度が高めで、雨が多くなっています。また、標高2,500mを超えるトルーカなどは、冬は零下になることもあります。夏の平均気温は25℃、冬の平均気温は3℃程度です。昼夜と夜間、晴天と雨天の日では気温にかなりの変化があります。

乾期は11月～3月、雨期は4月～10月頃。年間降水量：900mm。

7 歴史

紀元前3～8世紀	テオティワカン文明
14世紀	アステカ帝国
1521年	スペイン人によりアステカ帝国滅亡
1821年	スペインから独立
1846～1848年	米墨戦争
1910年	メキシコ革命勃発
1917年	現行憲法公布

8 政治・行政

州が、司法、立法、行政の三権を有しています。州内には125の市があります。州知事の任期は6年で、再選が禁止されています。

与党の制度的革命党（PRI）の州知事が続いています。

知事 アルフレド・デル・マソ・マサ氏（2017年9月就任）

州議会の議員定数は75議席で、政党別内訳は以下のとおりです（2023年2月現在）。

政党	議席数
国民再生運動（MRN）	29
制度的革命党（PRI）	23
労働党（PT）	3
国民行動党（PAN）	11
社会結集党（PES）	3
その他の政党	6
計	75

9 経 済

州内総生産 約 2兆 282億ペソ（=14兆 2785億円）（2020年）

※1メキシコペソ=7.04円（2023年3月現在）

（参考）埼玉県 県内総生産（名目） 23兆 6,428億円（2019年度）

10 産 業

(1) 工業

自動車・自動車部品、化学工業、製薬、金属、織物業、食品、電気製品

(2) 農業

トウモロコシ、麦、豆類、ジャガイモ、もも、アボカド、花き、畜産

11 教 育

メキシコの教育制度は日本と同じで、小学校（6年間）、中学校（3年間）、高等学校（3年間）、大学校（4年間または5年間）を採用しています。州による公立学校の他に、近年は、初等教育から高等教育まであらゆるレベルで、私立学校が増加しています。

12 特産品

サラペ（綿や毛でできたカラフルな模様の織物）

カーペット、陶器、土器

13 遺跡・観光

世界遺産にも登録されているテオティワカン遺跡（太陽の神殿、月の神殿）の他、マリナルコ遺跡、イスタパン・デラ・サル（温泉）、バレ・デ・ブラボ（ボート、ウォータースキー、遊覧船など）なども観光地として人気があります。また、トルーカの金曜市（民芸品など）やテポツォトラン（スペイン時代に建てられたコロニアル建築の教会）、コスモビトラル（植物園）なども見所です。

14 メキシコ合衆国の自治体との姉妹提携状況

埼玉県は、都道府県レベルで初めてメキシコの自治体と姉妹提携を締結した自治体です。市町村も含めると、姉妹提携は5番目です。

自治体名	提携先	提携年月日
仙台市	アカプルコ市	1973. 10. 23
名古屋市	メキシコシティ	1978. 2. 16
千葉県大多喜町	クエルナバカ市	1978. 8. 3
千葉県御宿町	アカプルコ市	1978. 8. 7
埼玉県	メキシコ州	1979. 10. 2
埼玉県さいたま市	メキシコ州トルーカ市	1979. 10. 2
京都市	グアダラハラ市	1980. 10. 20
和歌山県	シナロア州	1996. 5. 20
大阪府箕面市	クエルナバカ市	2003. 10. 12
千葉県御宿町	テカマチャルコ市	2013. 10. 23
広島県	グアナファト州	2014. 11. 6



テオティワカン遺跡 太陽の神殿

メキシコ合衆国の地図



メキシコ州との交流のあゆみ

- 1978(昭和53)年7月 知事が中南米諸国を訪問。在墨埼玉県人会会長から、メキシコ州との姉妹提携可能性が話題になる。
- 1979(昭和54)年1月 埼玉県及び浦和市の親善調査団が、メキシコ州トルーカ市において、姉妹県州提携にかかる調印についての合意書を交換した。
- 1979(昭和54)年10月 ヒメネス メキシコ州知事一行(19名)が来県し、知事公館にて、駐日メキシコ大使立ち合いのもと、「日本国埼玉県とメキシコ合衆国メキシコ州との姉妹提携盟約に関する協定書」に調印した。
- 1980(昭和55)年1月 知事がメキシコ州を訪問し、「日本国埼玉県とメキシコ合衆国メキシコ州との姉妹提携盟約に関する協定の促進についての共同声明」を発表した。
- 1980(昭和55)年4月 トルーカ市副市長を団長とする親善来訪団(89名)が来県し、知事公館において知事主催午餐会を行った。
- 1980(昭和55)年7月 埼玉県レクリエーション協会が、メキシコの民族舞踊を研修するためメキシコ親善訪問団(8名)を派遣し、メキシコ州政府を表敬訪問した。
- 1980(昭和55)年7月 トルーカ市農産担当顧問が、浦和市で行われる「トルーカの鐘」落成式へ市長代理として出席。養豚団地、花植木センター、畜産試験場等視察。
- 1980(昭和55)年10月 姉妹提携1周年記念親善訪問団(32名)及び職員訪問団(12名)がメキシコ州を訪問。提携調印記念として贈呈した燈籠「友情の灯」を除幕し、埼玉物産展のテープカットなどを行う。
- 1980(昭和55)年10月 トルーカ市長一行(113名)が「メキシコ州デー」にあわせて来県。メキシコ州から提携調印記念として贈られた「風の神」ブロンズ像の贈呈式、メキシコの観光・物産展などに参加。
- 1980(昭和55)年10月 「メキシコ州デー」にあわせて、メキシコの民族舞踊及びマリアッチ(20名)を招へいし、県内3会場(埼玉会館、熊谷会館、草加文化会館)で公演。
- 1981(昭和56)年4月 メキシコ州立自治大学の学生楽団「ネグロ・イ・プラタ」(9名)が来県。公演や交流、視察を行う。
- 1981(昭和56)年10月 埼玉新聞事業社社長を団長とする昭和56年メキシコ州親善訪問団(32名)がメキシコ州で行われる「サイタマデー」に参加。
- 1981(昭和56)年10月 提携調印記念日「メキシコ州デー」に、トルーカ市第一助役を団長とする親善来訪団(112名)が来県。
- 1981(昭和56)年10月 伊勢丹デパート(浦和市)にて、観光物産展、小学生児童の絵画作品展、ベラクルス民族舞踊団の公演を行う。
- 1981(昭和56)年10月 浦和市民会館において、メキシコ・モダン・ダンス・グループ「フォリオン・エンサンブレ」が公演。
- 1981(昭和56)年10月 別所沼公園内に設置された提携記念モニュメント「風の神」

- の広場で、記念植樹等を行う。
- 1982(昭和57)年8月 第1回スポーツ交流事業として、高校サッカー選抜選手団(21名)を派遣。
- 1982(昭和57)年10月 久喜市長を団長とする昭和57年メキシコ州親善訪問団(30名)が、メキシコ州で行われる「サイタマデー」に参加。
- 1982(昭和57)年10月 文化交流事業として、メキシコ州立自治大学学生楽団「エストゥディアンティナ」一行(20名)を招へい。埼玉会館での公演、及び県内各地で県民との交流を行った。
- 1982(昭和57)年10月 提携調印記念日「メキシコ州デー」に合わせて、川越市の丸広百貨店にて、観光物産展、小学生児童の絵画作品展、エストゥディアンティナ公演を行う。
- 1983(昭和58)年9月 埼玉県医師会常任理事を団長とする昭和58年メキシコ州親善訪問団(20名)が、メキシコ州で行われる「サイタマデー」に参加した。
- 1983(昭和58)年10月 文化交流事業として、メキシコ風景画家ハイメ・パヤン氏の絵画展を埼玉会館において開催。
- 1983(昭和58)年10月 「メキシコ州デー」に合わせ、伊勢丹デパート(浦和市)メキシコ観光物産展を開催。
- 1984(昭和59)年10月 メキシコ州知事一行が来県し、埼玉会館で行われた姉妹提携5周年記念式典に出席した。
- 1985(昭和60)年9月 メキシコで大地震が発生し、メキシコ州に見舞金100万円を贈呈。
- 1985(昭和60)年10月 メキシコ州から児童絵画が贈られ、さいたま国際交流フェア等において展示。
- 1985(昭和60)年10月 埼玉県国際交流協会が、メキシコ州義援金募集活動を開始。11月28日、義援金28,236,160円をメキシコ大使に寄託。
- 1985(昭和60)年10月 県営さいたま水族館において、メキシコ淡水魚展を開催した。
- 1985(昭和60)年10月 埼玉県立博物館において、メキシコ民芸展を開催。
- 1985(昭和60)年11月 埼玉県立近代美術館において、メキシコ近代美術展を開催。
- 1986(昭和61)年7月 県立博物館において、オルメカ文明(古代メキシコ文明)展を開催。
- 1986(昭和61)年10月 総務部長を団長とする埼玉県・メキシコ州友好訪問団(4名)をメキシコ州及びトルーカ市へ派遣。その際、本県から児童絵画50点を贈呈。
- 1987(昭和62)年5月 メキシコ州政府の依頼を受けたトルーカ市から「全国都市緑化さいたまフェア87」に出展するメキシコ原産のセンパチルの花の種が本県に贈られる。
- 1987(昭和62)年10月 「全国都市緑化さいたまフェア87」において、さきにメキシコ州から贈られたセンパチルの花が展示された。
- 1988(昭和63)年11月 政策審議室長を団長とする埼玉県・メキシコ州政府友好訪問団(4名)をメキシコ州へ派遣。州知事、州経済開発局長官と姉妹

- 提携10周年記念事業を含めた今後の交流事業について協議を行う。
- 1989(平成元)年8月 知事を団長とする埼玉県・メキシコ州訪問友好代表団(6名)をメキシコ州へ派遣。姉妹提携10周年記念式典や、さいたま展覧会(県産品16種、写真パネル50枚、埼玉県児童絵画30点を出展)に出席。また、(財)埼玉県国際交流協会も民踊団2団を含む合計3団(99名)の親善訪問団を派遣し、現地で重忠太鼓、秩父音頭の公演を行う。
- 1990(平成2)年10月 「さいたま国際フレンドシップ音楽祭」開催のための調査団(3名)をメキシコ州へ派遣した。
- 1991(平成3)年11月 「さいたま国際フレンドシップ音楽祭」が大宮ソニックシティで開催され、メキシコ州から舞踊・音楽民俗団(19名)が参加。
- 1992(平成4)年11月 メキシコ州品質委員会代表団(32名)が来県し、労働部次長を表敬訪問。
- 1993(平成5)年2月 メキシコ州経済交流促進ミッションが来県し、副知事を表敬訪問。
- 1993(平成5)年8月 知事を団長とする埼玉県北米中米親善訪問団(10名)がメキシコ州を訪問し、サリーナス メキシコ大統領をはじめ、メキシコ州知事、メキシコ州議会議長、トルーカ市長と会談。
- 1994(平成6)年3月 メキシコ州知事顧問が、首都圏に生じる諸問題の調査及び意見交換のため来県。さいたま新都心視察。
- 1994(平成6)年10月 トルーカ市長夫人を団長とするトルーカ市友好訪問団(5名)が浦和市との姉妹提携15周年記念式典に出席するため来県。知事を表敬訪問。
- 1995(平成7)年10月 埼玉県で開催した「第3回気候変動に関する世界自治体サミット」に、メキシコ州から、環境長官及び環境局住民参画部長を招待。サミット後、引続き埼玉県内の視察を行う。
- 1996(平成8)年1月 寺田駐メキシコ大使が、都内で知事と会談。
- 1996(平成8)年4月 ウリーベ駐日メキシコ大使及びカマチョ・メキシコ州知事一行(5名)が知事を表敬訪問。歓迎昼食会に出席。併せて、浦和市長を表敬訪問し、埼玉県東部清掃組合のごみ処理施設を視察。
- 1996(平成8)年5月 日本人メキシコ移住100年祭実行委員会関係者(3名)が、知事を表敬訪問。
- 1996(平成8)年7月 来日中のグリア・メキシコ外務大臣が、都内で知事と会談。
- 1996(平成8)年7月 寺田駐メキシコ大使が知事を表敬訪問。彩の国さいたま芸術劇場を視察。
- 1996(平成8)年10月 研修のため来日中のメキシコ州経済開発局職員が来県。国際課及び商業観光課と懇談。また、浦和市役所訪問、ロッテ浦和工場視察を行う。
- 1997(平成9)年6月 日本人メキシコ移住100周年を記念して、知事をはじめ170名を超える県民がメキシコを訪問。記念行事「埼玉デー」(於:

- 1997(平成9)年7月 メキシコシティ)「埼玉ナイト」(於:メキシコ州)を実施。
- 1997(平成9)年7月 ウリーベ駐日メキシコ大使が、知事を表敬訪問。
- 1997(平成9)年7月 トルーカ市の少年サッカー選手団(38名)が、知事を表敬訪問。
- 1997(平成9)年7月 本県の高校生サッカー選手団(21名)をメキシコ州に派遣。州立自治大学付属高校のサッカーチームと親善試合2試合を行う。
- 1997(平成9)年12月 日墨協会関係者(6名)が、知事を表敬訪問。
- 1998(平成10)年2月 日系画家・ルイス・ニシザワ画伯が来日、知事を表敬訪問。画伯から、県立近代美術館に作品「憂愁」が寄贈される。県立近代美術館で「メキシコ現代版画と日本」展を開催。
- 1998(平成10)年4月 セルヒオ・ゴンザレス・ガルベス メキシコ合衆国名誉大使(メキシコ合衆国外務大臣顧問/メキシコ州政府投資顧問)が、知事を表敬訪問。
- 1998(平成10)年5月 メキシコ州イストラワカ市の産業公園「エルマンダー・デル・エスタード・デ・メヒコ(メキシコ州の姉妹関係)」の完成式典が催される。公園内の通りのひとつが「さいたま」と命名された。
- 1998(平成10)年10月 メキシコ州出身の国際交流員を受け入れる。
- 1999(平成11)年7月 メキシコ州出身の国際交流員を受け入れる。
- 1999(平成11)年10月 埼玉県メキシコ州姉妹提携20周年記念事業を浦和市と合同(浦和市とトルーカ市も20周年を迎えた)で実施。
- 2000(平成12)年2月 田中駐メキシコ大使が知事を表敬訪問。
- 2000(平成12)年5月 セルヒオ・ゴンザレス・ガルベス メキシコ合衆国名誉大使(メキシコ合衆国外務大臣顧問/メキシコ州政府投資顧問)が、知事を表敬訪問。
- 2000(平成12)年11月 メキシコ州経済訪問団が来県、出納長と懇談。
- 2000(平成12)年11月 知事室長を団長とする親善訪問団を派遣。在墨埼玉県人会創立20周年記念式典に出席するとともにメキシコ州知事への表敬訪問等を行う。
- 2001(平成13)年6月 カルロス・イリアルテ メキシコ州警察本部長が、埼玉県警本部長を訪問、懇談。警察学校等を視察。
- 2001(平成13)年6月 セルヒオ・ゴンザレス・ガルベス メキシコ合衆国名誉大使(メキシコ州アドバイザー)と、マルタ・ゴンザレス メキシコ州政府環境局局長が、知事を表敬訪問。
- 2001(平成13)年8月 カルロス・デイカサ 駐日メキシコ大使が、知事を表敬訪問。さいたま新都心、埼玉スタジアム2002を視察。
- 2001(平成13)年8月 環境防災部長を団長とする環境訪問団が、メキシコ州を訪問。今後の交流事業について協議。
- 2001(平成13)年11月 メキシコ州トルーカ市他で、メキシコ州と在墨埼玉県人会共催で行われた「盆栽展」に講師を派遣。盆栽の解説・剪定のデモンストレーションを行う。
- 2002(平成14)年4月 ワールドカップサッカー大会の開始を記念し、「わくわくサッカー絵画展」を開催(於:伊勢丹浦和店)

- 2002(平成14)年6月 アルトゥーロ・モンティエル メキシコ州知事が来県し、知事を表敬訪問。さいたま新都心の視察。
- 2002(平成14)年10月 アマウリ・アルサテ メキシコ州立自治大学助教授が、環境科学国際センターの研究者として来県。知事を表敬訪問。
- 2002(平成14)年12月 セルヒオ・ゴンザレス・ガルベス メキシコ合衆国名誉大使(メキシコ州アドバイザー)が、知事を表敬訪問。
- 2003(平成15)年3月 ベンハミン・フォウルニエル メキシコ州水・土木事業・基幹施設開発局長が、知事を表敬訪問。埼玉スタジアム2002、さいたま新都心を視察。
- 2004(平成16)年7月 環境科学国際センターで、メキシコの魚などの自然を紹介する「メキシコ自然展」を開催。
- 2004(平成16)年8月 知事をはじめとする約120名の訪問団がメキシコ州を訪問。姉妹提携締結25周年記念式典に出席し、両知事が「友好の確認書」に署名。また、現地で日本と埼玉県の間を文化を紹介するイベント「さいたまフェア」を開催。
- 2004(平成16)年10月 ラファエル・ロペス メキシコ州立自治大学総長が知事を表敬訪問。同大学における奨学金制度創設のための協議を行う。
- 2005(平成17)年2月 日本語国際センターで、メキシコ文化を紹介する「メキシコフェア」を開催。
- 2005(平成17)年5月 メキシコ州立自治大学との間で埼玉県から同大学への奨学生派遣に関する協定を締結。
- 2006(平成18)年8月 メキシコ州立自治大学への奨学生派遣事業により、第1回奨学生が派遣される。
- 2007(平成19)年8月 メキシコ州立自治大学への奨学生派遣事業により、第2回奨学生が派遣される。
- 2007(平成19)年11月 エンリケ・ペーニャ・ニェート メキシコ州知事、ミゲール・ルイスカバーニャス 駐日メキシコ大使、ホセ・マルティーンネス メキシコ州立自治大学学長ら訪問団(23名)が知事を表敬訪問。
- 2008(平成20)年8月 メキシコ州立自治大学への奨学生派遣事業により、第3回奨学生が派遣される。
- 2009(平成21)年2月 小野正昭 駐メキシコ大使が知事を表敬訪問。
- 2009(平成21)年8月 メキシコ州立自治大学への奨学生派遣事業により、第4回奨学生が派遣される。
- 2009(平成21)年9月 姉妹提携30周年並びに日本メキシコ交流400周年を記念し、メキシコ州自治体職員協力交流研修員の協力による「メキシコ州・埼玉県交流写真展」を熊谷図書館で開催。
- 2009(平成21)年11月 姉妹提携30周年を記念し、クイーンズランド州(25周年)、ブランデンブルグ州(10周年)記念も併せ、さいたま新都心けやきひろばで「姉妹州フェア」を開催(11月2日~3日)。「まなびピア埼玉2009」と同時開催)記念ステージでは、浦和メキ

2011(平成23)年5月	シコ民族舞踊研究会「コラソン デ メヒコ」がメキシコ舞踊を披露。また、メキシコ州関連出展ブースとして2業者が出展。メキシコ州政府国際協力課長が来県、本県職員とともに駐日メキシコ大使館及び外務省共催の日本・メキシコ姉妹都市会合に出席。
2011(平成23)年9月	エルビエル・アビラ・ビジェガス知事が就任。
2012(平成24)年12月	エンリケ・ペーニャ・ニュート 前メキシコ州知事がメキシコ合衆国大統領に就任。
2013(平成25)年3月	目賀田周一郎 駐メキシコ大使がさいたま市内で知事と会談。
2014(平成26)年2月	職員(3名)をメキシコ州へ派遣。州政府、トルーカ市長、州立自治大学、在墨県人会長、経済関係者などと、姉妹提携35周年を含めた今後の交流事業について協議。
2014(平成26)年6月	職員(2名)をメキシコ州へ派遣。州政府、州議会、国立自治大学、州立自治大学、在墨県人会長、経済関係者などと、姉妹提携35周年を含めた今後の交流事業について協議。
2014(平成26)年9月	姉妹提携35周年を記念し、知事がメキシコを訪問、「友好の確認書」に署名。高校生の相互交流などを通じ、青少年の異文化交流やグローバル人材育成を促進することなどを合意。
2015(平成27)年8月	「友好の確認書」に基づき、県立高校メキシコ州派遣交流プログラムにより、県立高校の20名の生徒がメキシコ州およびメキシコシティを訪問。
2015(平成27)年9月	駐日メキシコ特命全権大使カルロス・フェルナンド・アルマダ・ロペス閣下が来県し、知事と昼食懇談。昼食会談後、大使は県立和光国際高校を訪問。
2015(平成27)年10月	メキシコ州トルーカ市から市民訪問団が来県し、県民生活部副部長と懇談。
2015(平成27)年10月	県内出身者1名がメキシコ州教育省にJICAシニア海外ボランティア(品質管理・生産性向上)として派遣。
2017(平成29)年8月	「友好の確認書」に基づき、県立高校メキシコ州派遣交流プログラムにより、県立高校の20名の生徒がメキシコ州およびメキシコシティを訪問。
2017(平成29)年9月	アルフレッド・デル・マゾ・マザ知事が就任。
2017(平成29)年9月	メキシコ中部を震源とするM7.1の地震により、メキシコ全体で369人が死亡、メキシコ州でも15人が死亡。埼玉県国際交流協会が募った義援金7,174,434円を、在日メキシコ大使館を通じてメキシコに贈呈。
2017(平成29)年10月	県立近代美術館がメキシコ芸術の巨匠ディエゴ・リベラ企画展を開催。カルロス・フェルナンド・アルマダ・ロペス 駐日メキシコ大使がオープニングセレモニーに出席。
2018(平成30)年10月	メキシコ州の花火師2名及び、同州花火研究所所長他1名が来県。本県花火師の工場を訪問して安全管理手法を学んだほか、こ

- うのす花火大会を視察。
- 2019(平成31)年1月 本県花火師1名、このす花火大会主催者1名、県国際課職員がメキシコ州を訪問。安全管理に関する技術指導を行ったほか、現地花火産業関係者約100名が参加するワークショップを開催。
- (※平成31年度事業は、一般財団法人自治体国際化協会補助事業)
- 2019(平成31)年2月 高瀬 寧在メキシコ日本大使が来県し、知事を表敬訪問。
- 2019(令和元)年10月 姉妹提携40周年を記念し、県内で花火を活用した周年行事を実施。メキシコ州から花火師4名を招へい。県内花火師と共同で花火を製作したほか、鴻巣市を訪問し市民と交流。
- (※台風第19号により、花火は未実施。)
- 2019(令和元)年10月 姉妹提携40周年を記念し、メキシコ州で花火を活用した周年行事を実施。県内花火師1名、このす花火大会関係者2名、県国際課職員がメキシコ州を訪問。県産品等のPRイベント「埼玉ナイト」を開催したほか、県花火師による「SAITAMA花火」の打上げを実施。
- 2021(令和3)年10月 日本とメキシコの高校生30名ずつが1か月間オンラインで交流し、少人数のグループごとに両県州の魅力を伝える動画を作成。
- 2022(令和4)年10月 メキシコ州政府国際儀典室の担当者2名が来日した。このす国際交流市民の会12名や越谷南高校の外国語科生徒40名と国際交流を行い、このす花火大会、埼玉県警察学校及び埼玉県立川の博物館等を視察した。

※ 地名、職名等は当時のものです。

メキシコ州とのこれまでの主な交流事業

1 研修員受入事業（昭和58年度～平成23年度）

本県の特性を生かした技術指導を行い、経済社会の発展に貢献する人材を養成するとともに、広く県民との交流を通じて相互理解を深め、友好親善関係の促進を図るため、メキシコ州から研修員を受け入れた。

年度	人数	研修機関
1983(S58)	1名	農業試験場
1984(S59)	1名	園芸試験場
1986(S61)	1名	植物振興センター
1987(S62)	1名	水産試験場熊谷支所（養魚）
1988(S63)	1名	花植木センター（造園）
1989(S64)	1名	園芸試験場（バイオテクノロジー）
1991(H3)	2名	水産試験場（淡水魚養殖）、園芸試験場（野菜栽培）
1992(H4)	1名	園芸試験場（花き栽培）
1994(H6)	1名	園芸試験場（野菜栽培）
1995(H7)	1名	園芸試験場（野菜栽培）
1996(H8)	2名	園芸試験場（花き栽培） 総合リハビリテーションセンター（整形外科）
1997(H9)	2名	総合リハビリテーションセンター（整形外科） 小原循環器病センター（看護婦）
1998(H10)	1名	循環器・呼吸器病センター（看護全般）
1999(H11)	1名	水産試験場（養魚）
2000(H12)	1名	水産試験場（養魚）
2002(H14)	2名	農林総合研究センター園芸支所 埼玉県警察本部（自治体職員協力交流研修員）
2003(H15)	2名	（株）山城精機製作所他 埼玉県警察本部（自治体職員協力交流研修員）
2004(H16)	1名	埼玉県警察本部（自治体職員協力交流研修員）
2005(H17)	1名	埼玉県県土整備部、都市整備部、さいたま市ほか （自治体職員協力交流研修員）

2006 (H18)	1名	埼玉県総合政策部、企業局、さいたま市ほか (自治体職員協力交流研修員)
2007 (H19)	1名	埼玉県農林総合研究センター水産研究所 (自治体職員協力交流研修員)
2008 (H20)	1名	埼玉県立小児医療センター (自治体職員協力交流研修員)
2009 (H21)	1名	保健所、埼玉県立越谷南高校、埼玉県立大学ほか (自治体職員協力交流研修員)
2010 (H22)	1名	埼玉県立和光国際高校、さいたま市立本太中学校、 さいたま市立三橋小学校ほか (自治体職員協力交流研修員)
2011 (H23)	1名	ものづくり大学、埼玉県立和光国際高校ほか (埼玉県・メキシコ州職員技術協力交流研修員)
合計	30名	

2 児童絵画展の相互開催事業（昭和61年度～平成16年度）

毎年度相互に児童絵画を交換しあい、それぞれの地で児童絵画展を開催。19年間で、600点以上の絵画を交換展示した。

平成9年度には、メキシコ州における日本人メキシコ移住100周年記念事業「埼玉ナイト」「埼玉デー」開催に合わせて、平成16年度には、埼玉県における「彩の国まごころ国体2004」開催に合わせて展示した。

3 メキシコ州立自治大学への奨学生派遣事業（平成17年度～平成21年度）

平成16（2004）年に埼玉県とメキシコ州が姉妹提携25周年を迎えたことを記念し、創設。向学の志に燃え、埼玉県を代表して、埼玉県とメキシコ州との友好親善の礎となる人材を、メキシコ州立自治大学へ奨学生として派遣した。延べ派遣人数は14名。

【参考】日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画派遣奨学生（平成13年度～）

外務省では、日本・メキシコ両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化に貢献できる若手人材を育成するため、メキシコにおいて研鑽を積む機会として「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画」を実施している。

本県はメキシコ州と姉妹提携を結んでいることから、埼玉県を代表して本プログラムに参加する研修生を推薦している。本県推薦者の派遣先は、メキシコ州及びメキシコシティ内大学で、延べ19名の研修生が参加。

メキシコ州との近年の交流事業実施状況

交流項目	交流事業内容（人数、期日等）	派遣	受入	その他	実施年度
行政交流	・姉妹提携35周年を記念し、上田知事がメキシコを訪問、「友好の確認書」に署名。	○			H26
	・駐日メキシコ特命全権大使カルロス・フェルナンド・アルマダ・ロペス閣下が来県し、上田知事と昼食懇談。		○		H26
	・メキシコ州政府国際儀典室の担当者2名が来県し、県民との国際交流及び県内視察を実施。		○		R4
教育交流	・「友好の確認書」に基づき、県立高校メキシコ州派遣交流プログラムにより、県立高校の20名の生徒がメキシコ州およびメキシコシティを訪問。	○			H27 H29
	・日本・メキシコの高校生それぞれ30名が1か月間オンラインで交流し、少人数のグループごとに両県州の魅力を伝える動画を作成。			○	R3
その他の交流	・メキシコ州花火師2名、メキシコ州花火研究所職員2名が来県。県内花火工場、花火大会を視察。		○		H30
	・本県花火師、花火大会関係者、県職員がメキシコ州を訪問。州内花火工場で技術指導を行ったほか、日本の花火に関するワークショップを開催。	○			H30
	・姉妹提携40周年を記念し、メキシコ州花火師4名を招へいし、こうのす花火大会でのメキシコ花火「カスティージョ」実施に向けて、県内花火師と共同で花火を製作。鴻巣市を訪問し市民と交流。（台風第19号により花火は未実施。）			○	R1
	・姉妹提携40周年を記念し、県内花火師1名、こうのす花火大会関係者2名、県国際課職員がメキシコ州を訪問。11月2日の「死者の日」に、県産品等PRイベント「埼玉ナイト」を開催したほか、県花火師による日本花火「SAITAMA花火」の打上げを実施。	○			R1

関係機関一覧

機 関 名	連 絡 先
メキシコ州政府 (国際儀典室)	住所 Coordinacion De Asuntos Internacionales Gobierno Del Estado de Mexico 300 W Sebastián Lerdo de Tejada #300, door 157, Centro, Toluca, Estado de México, 50000 電話 +52-722-167-8318/8319 FAX +52-722-167-8318/8319 http://qacontent.edomex.gob.mx/edomex/inicio/index.htm?ssSourceNodeId=498&ssSourceSiteId=edomex
在日メキシコ大使館	住所 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-15-1 電話 03-3580-2961 FAX 03-5510-4324 http://www.sre.gob.mx/japon/
外務省中南米局 中米カリブ課	住所 〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1 電話 03-3580-3311 (内線5310) http://www.mofa.go.jp/mofaj/ (外務省のホームページ)
在メキシコ日本大使館	住所 Paseo de la Reforma 243, Torre Mapfre Piso 9, Col.Cuauhtémoc, Alcaldía Cuauhtémoc, Ciudad de México, México. CP 06500 電話 +52-55-5211-0028 FAX +52-55-5207-7030 https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/
埼玉県県民生活部国際課	住所 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-2713 (直通) FAX 048-830-4748 http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/d06/



メキシコ州の州章

メキシコ州との交流の概要

令和5年3月

発行：埼玉県県民生活部国際課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL:048-830-2713 FAX:048-830-4748

E-mail : a2705-09@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306/>